

働く男のライフスタイル情報紙

Biz Life Style [ビズスタイル名古屋]

特別版

2017 09

『BizLifeStyle』は東京、神奈川、関西、京都・滋賀、
仙台、福岡、名古屋、広島にて60万部発行
下記URLまでアクセスを。

www.biz-s.jp

広告掲載に関するお問い合わせ・申し込みは

TEL.052-219-7011 FAX.052-219-7041

www.dac-group.co.jp/

企画・制作／株式会社ディリー・インフォメーション中部

〒460-0003 名古屋市中区錦1-20-12 伏見ビル6F

© 2017 DAILY INFORMATION CHUBU CO.,LTD



2017 MITSUKOSHI
WORLD WATCH FAIR

9.15 [Fri] >>> 9.26 [Tue]



マリーン エクアシオン
マルシャント 5887

Ref.5887PT/Y2/9WV
26,935,200円 [予約販売]

自動巻／パワーリザーブ約80時間／Ptケース／
径43.9mm／10気圧防水／スイス製

BREGUET

ブレゲ

フランス王国から愛された、
天才ブレゲへの最高のオマージュ



巻き上げローターはムーブメント外周部におもりを備えるペリフェラル・ローターを採用。これによりムーブ厚5mmという薄さを実現した。ケースはプラチナ950とK18RGがあり、ケースバックにはフランス王国海軍の第1級戦艦ロワイヤル・ルイの姿が精緻に彫り込まれている。



窓から見える瓢箪のような形をしたパーツがイクエーション・オブ・タイムのカム。太陽に対する地球の公転軌道を图形化したもの。200年以上の時を超えて、現代によみがえたパートを窓からぞき見えるところもこの時計の大きな魅力だ。

毎年、春に各ブランドが新作を発表するスイスの時計宝飾見本市バー・ゼルワールド。今多くのバイヤーやプレス関係者で賑わったが、会場でひときわ注目を集めたのはブレゲが発表したマリーンの新作モデルである。ブレゲの創業者アブラム・ルイ・ブレゲは、1815年にルイ18世から「フランス海軍省御用達クロノメーター製作者」に任命され、航海で使用するマリン・クロノメーターを海軍へ納めていた。その歴史的背景をもとに1990年に発表されたのが初代マリーンである。以来、マリーン・コレクションとして、さまざまなモデルが製作されてきたが、今回のマリーンには永久カレンダーとトゥールビヨン、そしてイクエーション・オブ・タイムという複数の複雑機構が搭載されたのだ。いずれも高度な数学的計算と工作技術を要する機構だが、なかでも目を惹くのはイクエーション・オブ・タイムである。

そもそもイクエーション・オブ・タイム（均差）とは、平均太陽時と真太陽時の差を表す言葉である。一日の長さが24時間に定められていることは誰もが知っているが、これはあくまで平均化した時間であり必ずしも正確なものではない。それは、本来一日の長さとは太陽が真南にきたときから、次に真南にくるまでの時間を指すからだ。しかし地球の公転軌道が橙円であり、さらに地軸が傾いているため一日の長さは季節によって23時間44分～24時間14分の間で変動している。新作マリーンに搭載されたイクエーション・オブ・タイムは定められた24時間の平均太陽時と、本来の時間である真太陽時を2つの分針で同時に表示してくれるのだ。

ところでブレゲにはNo.160という伝説の懐中時計があるのをご存知だろうか。これは「どれだけ時間がかかるてもいい、世界一複雑で美しいものを」というマリー・アントワネットの依頼で製作されたといわれている。持てる限りの技術を尽くして時計が完成したのは1827年のこと。注文から完成まで44年の歳月が費やされ、ブレゲの最高傑作として現代まで語り継がれている。実は新作マリーンに用いられているイクエーション・オブ・タイムのパートはNo.160に使われたものと同じ。こんなところからも、200年前のブレゲへのオマージュを感じ取ることができる。

イクエーション・オブ・タイムのカム。太陽に対する地球の公転軌道を图形化したもの。200年以上の時を超えて、現代によみがえたパートを窓からぞき見えるところもこの時計の大きな魅力だ。

毎年、春に各ブランドが新作を発表するスイスの時計宝飾見本市バー・ゼルワールド。今多くのバイヤーやプレス関係者で賑わったが、会場でひときわ注目を集めたのはブレゲが発表したマリーンの新作モデルである。ブレゲの創業者アブラム・ルイ・ブレゲは、1815年にルイ18世から「フランス海軍省御用達クロノメーター製作者」に任命され、航海で使用するマリン・クロノメーターを海軍へ納めていた。その歴史的背景をもとに1990年に発表されたのが初代マリーンである。以来、マリーン・コレクションとして、さまざまなモデルが製作されてきたが、今回のマリーンには永久カレンダーとトゥールビヨン、そしてイクエーション・オブ・タイムという複数の複雑機構が搭載されたのだ。いずれも高度な数学的計算と工作技術を要する機構だが、なかでも目を惹くのはイクエーション・オブ・タイムである。

そもそもイクエーション・オブ・タイム（均差）とは、平均太陽時と真太陽時の差を表す言葉である。一日の長さが24時間に定められていることは誰もが知っているが、これはあくまで平均化した時間であり必ずしも正確なものではない。それは、本来一日の長さとは太陽が真南にきたときから、次に真南にくるまでの時間を指すからだ。しかし地球の公転軌道が橙円であり、さらに地軸が傾いているため一日の長さは季節によって23時間44分～24時間14分の間で変動している。新作マリーンに搭載されたイクエーション・オブ・タイムは定められた24時間の平均太陽時と、本来の時間である真太陽時を2つの分針で同時に表示してくれるのだ。

ところでブレゲにはNo.160という伝説の懐中時計があるのをご存知だろうか。これは「どれだけ時間がかかるてもいい、世界一複雑で美しいものを」というマリー・アントワネットの依頼で製作されたといわれている。持てる限りの技術を尽くして時計が完成したのは1827年のこと。注文から完成まで44年の歳月が費やされ、ブレゲの最高傑作として現代まで語り継がれている。実は新作マリーンに用いられているイクエーション・オブ・タイムのパートはNo.160に使われたものと同じ。こんなところからも、200年前のブ



1815 アニュアルカレンダー

Ref.238.032

4,903,200円

手巻/パワーリザーブ約72時間/K18PGケース
/径40mm/ドイツ製

A. LANGE & SÖHNE

A. ランゲ&ゾーネ

ムーブメントを閉じ込めた、
世界最高峰の伝統工芸美

A.ランゲ&ゾーネの時計は精密機械であり、古典的な美が際立つ最高の工芸品もある。創業者のフェルディナント・アドルフ・ランゲは19世紀のドイツ・ザクセン王国にて活躍していた時計師である。この王国は昔から発明が盛んで、科学への取り組みや完璧主義を重んじる文化があったという。A.ランゲ&ゾーネの基本方針には「どの時計も二度組みして完成させる」という項目があるが、これは一度組み立てて微調整したムーブメントを全て分解し、洗浄してから仕上げと装飾を施し、再び組み立てる意味である。多くの手間がかかり、高級時計業界でも非常に珍しい方式だが、完璧を追求する精神が受け継がれているからこそ、A.ランゲ&ゾーネは徹底して二度組みにこだわっているのだ。

今年の新作「1815 アニュアルカレンダー」も、もちろん二度組みによつてつくられている。左右対称のデザインには懐中時計の趣があり、完璧なムーブメントに古典的な美しさをまとった逸品である。

A.ランゲ&ゾーネ公認時計師
森山 治彦 氏

Gressive編集長
名畑 政治 氏

分解・組み立て実演＆トークショー

9月23日(土・祝)・24日(日) 各日1セッション 午後2時～
会場:6階ウォッチ&ジュエリー タイムピースラウンジ・アストロラーベ

日本のA.ランゲ&ゾーネ専任時計師である森山治彦氏と腕時計WEBマガジンGressiveの編集長である名畑政治氏を招いて特別イベントが開催される。A.ランゲ&ゾーネの自社製ムーブメント「キャリバーLO51.1」を例に分解・組み立てを実演しながら、拡大モニターを使ってその特徴をわかりやすく説明していく。時計ファンならずとも楽しめる内容だ。またイベント期間中は常駐しているため、手入れのコツや時計の選び方など相談に乗ってもらうこともできそうだ。



A.ランゲ&ゾーネの工房で研修を受け、10年来にわたり日本でA.ランゲ&ゾーネの時計の修理やメンテナンスに携わる第一人者である。

森山 治彦 氏



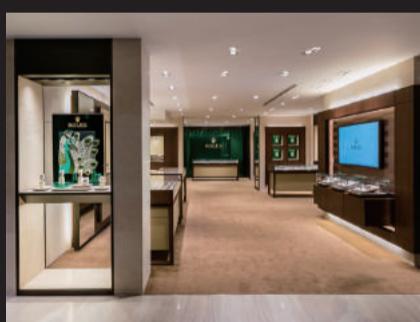
時計ライターとして長年、活動を続けており時計には深い造詣を持つ。現在は腕時計WEBマガジンGressiveの編集長としても活躍している。

名畑 政治 氏

ROLEX

ロレックス

“究極の実用性”を追求した、
2017年の新作モデル



オープンから1周年。

昨年、秋のオープンから間もなく1周年を迎える名古屋栄三越のロレックスショップ。東海エリアで最大級のフロア面積を誇るロレックスショップとして注目を集めているが、広さだけではない充実した品揃えを誇る。幅広いバリエーションの中から最適な一本を見つけることができるだろう。

1905年の創業以来、「高精度で実用的な時計」を追い求めてきたロレックス。コレクション数を増やすのではなく、定番モデルのブッシュアップを行うことで進化を続け、時計業界に革命をもたらしてきた。防水性に優れたオイスター・ケースや自動巻きを実現したオイスター・ケーブル機構はまさにその象徴といえるだろう。

2017年の新作として発表されたゴールドモデルの「オイスター・パーぺチュアル・コスモグラフ・デイトナ」も極めて実用性の高い時計である。もともとはカーラー・サーの「T-2」に応えるべく設計された時計で、信頼性の高いクロノグラフとベゼルに刻み込まれたタキメーターは時速400キロまでの平均速度を正確に計測することが可能だ。1963年にオリジナルが誕生してからさまざまなものモデルが発表されてきたが、今回はブレスレットにクロムベゼルを使用しており、まさに実用的



オイスター
パーぺチュアル
コスモグラフ デイトナ

Ref.116515LN
2,959,200円

自動巻/パワーリザーブ約72時間/K18RG
ケース/径40mm/100m防水/スイス製

My Favorite Life Style

F.P. JOURNE

フランソワ・ポール・ジュルヌ

時計製作の伝統を重んじながら
革新的な時計を創造し続ける
孤高の独立時計師



フランソワ・ポール・ジュルヌ氏

しかし、フランソワ・ポール・ジュルヌは実現させたのだ。
F.P. ジュルヌが百貨店のフェアに出演する
のは極めて異例のこと。今回、夢の出展が実現したのは、タイムピースラウンジ・アストロラーベがあつたからだという。時計愛好家のための特別な空間にフランソワ・ポール・ジュルヌも心を動かされたのだろう。

オクタ・リュヌ

5,520,960円 [予約販売・1点限り]

自動巻／パワーリザーブ約120時間／K18RG
ケース／径42mm／3気圧防水／スイス製

F.P. ジュルヌは今を生きる天才時計師、フランソワ・ポール・ジュルヌが1999年にスイスで設立したブランドである。時計ファンを除くと一般的な知名度は決して高くないかもしないが、それもそのはず、日本国内の時計は年間850本という限られた本数しか製作されておらず、簡単に目に掛かるものではないのだ。

しかし、フランソワ・ポール・ジュルヌは独創的なムーブメントを製作する時計師として、世界の時計師や時計ファンから非常に高い評価を得ている。代表的なのは2000年に発表されたレゾナンス機構付きの腕時計だ。これは18世紀に活躍していたアブラアン・ブレゲによって発明され、懐中時計や置時計でクロさせていたが、フランソワ・ポール・ジュルヌは不可能だと思われていた腕時計への搭載を実現させたのだ。



時計愛好家のためのくつろぎの空間 タイムピースラウンジ・アストロラーベ

昨年10月、名古屋栄三越のウォッチ&ジュエリーに新設されたタイムピースラウンジ・アストロラーベ。ここは「タイムピースラウンジ」という名の通り、時計の魅力と情報を発信するためのラウンジスペースである。新作モデルや名門メゾンの希少ウォッチ、そして時計に関連するアイテムが多数展示されており、同店時計トップスタイルリストの森川義郎氏が興味深い話を交えながら深遠なる時計の世界に誘ってくれる。まさに、時計愛好家のためにつくられた贅沢なくつろぎの空間である。



森川 義郎 氏



ラウンジには希少な時計関連書籍を集めたライブラリーもあり、ソファで寛ぎながらゆっくりと閲覧することもできる。中央には顕微鏡や大型モニターがあり、これらの設備を用いて機械解説や組み立て実演なども行われる。



Brand
List
(一例)



※価格はすべて税込です。

this is japan.
MITSUKOSHI
名古屋栄



〒460-8669 名古屋市中区栄3-5-1
TEL/052-252-1111(大代表)
<http://nagoya.mitsukoshi.co.jp>

ワールドウォッチフェア
期間限定特典

「Biz Life Style名古屋特別版(本紙)」をお持ちの方、
先着300名さまに粗品をプレゼント

■引換期間:9月15日(金)~9月26日(火)
■引換場所:名古屋栄三越 6階ウォッチ&ジュエリー
※お一人様1点限り。なくなり次第、終了とさせていただきます。

第19回 三越 ワールドウォッチフェア
9月15日(金)~9月26日(火)

名古屋栄三越6階
ウォッチ&ジュエリー・特設会場
後援/スイス時計協会FH